

季節のことば

母の愛は海より深しというが、文字どおり漢字の海の中には母がある。詩人三好達治は「海よ、僕らの使う文字では、おまえの中に母がいる。そして母よ、フランス人の言葉では、あなたの

の中にMER(海)があるそう、漢字とは逆なのが面白い。さらにここに生み(海)の母など加えたら蛇足のそしりを受けるかも知れない。さて、五月の第二日曜日は母の日。あなたは何をプレゼントされますか？

Mitsuba NEWS

三笠ニュース

PR号報/年4回発行
発行所 三笠産業株式会社
郵便番号101 東京都千代田区猿樂町1-4-3
電話03(3292)1411大代表 ファックス03(3233)0530

京谷社長 ARA 展示会を視察 本紙30周年記念号に帰国談話

三笠ニュース創刊30周年を迎え紙面の刷新を図りました。その第一号トップを飾るにふさわしい'93ARAの新鮮な印象を京谷社長にお話し戴きます。

今回の渡米は久しぶりでとあって収穫が大きかった。何より第一にアメリカの景気回復を肌で実感できたことが挙げられる。ARA(アメリカ・レンタル・アソシエーション)は全米の大イベントだが、ここ数年来どうしても低迷ムードを脱しきれなかったという。ところが今回の来場者数は実に記録破りであり、会場の活気に至っては過去にない高ぶりを呈していた。明らかに全米的な公共投資に対する大きな期待の現れであり、レンタル業界の買い気ははっきりと見えていた。徐々にではあっても確実にアメリカは景気回復を成し遂げる！そう私は確信して帰国したのだった。

会場のラスベガスのコンベンション施設の豪華壮大さには幾度訪れても仰天させられる。幕張メッセなど足元にも及ばないから口惜しい。

われらのMQ(マルチクイップ社)は今回またまた業績ナンバーワン受賞で三笠ブランドへの信頼をさらに高めており私も鼻が高かった。レビン社長と腕を組んで会場内を歩いていると、最大のライバルであるドイツ・ワッカー社が嫉妬のあまりに我々を狙撃するかも…など鋭いジョークが飛んだほどである。かつて苦難のポーランド移民レビン氏がセールスマン時代、三笠ランマーに着目した炯眼こそ今日の成功の第一歩だった。あれから20年の親し

い関係である。このサクセスストーリーのセールス部分を我々三笠へ逆輸入する必要もあるぞ……私はそんな思いに駆られながら表彰式場のデラックスホテル「ミラージュ」へ歩を移した。それは前回訪れたときには建っていなかった真新しいホテルで多分今日ラスベガス随一であろう。

ARA視察の感銘をどのように国内で生かすか。これが本社へ帰着して最初に念頭をよぎった課題である。

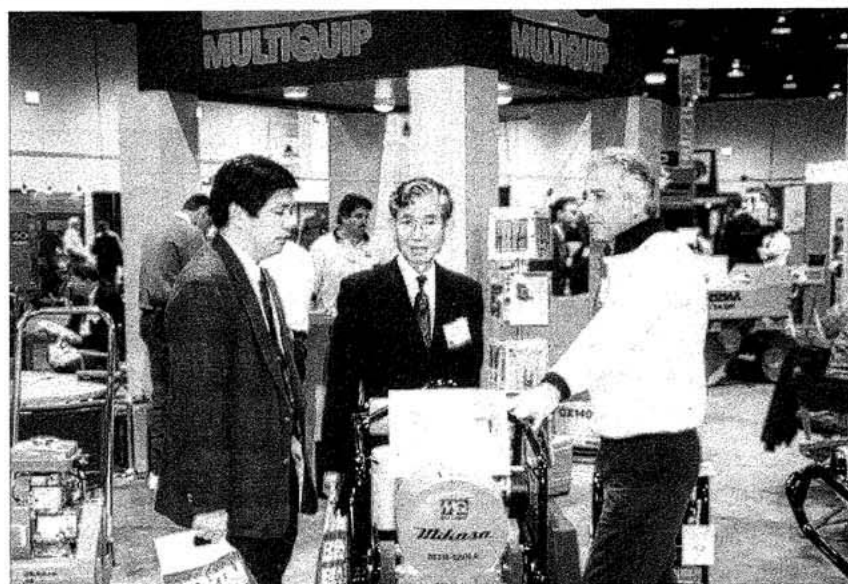
社長随行レポート

輸出二課・清水義正

2月10日、全日空006便にて予定通りロスアンジェルス国際空港に到着した。約8時間のフライトでなおかつ17時間の時差の影響から、身体はいささか疲れ気味であったが、日本の真冬の寒さとは打って変わったロスアンジェルス

の暖かい気候にその旅の疲れも薄らぐ気分であった。約2時間半の待ち合わせの後、デルタ航空に乗り継ぎ、ARA展示会の開催地であるラスベガスへ向かった。今回、社長に随行し出張する機会を得て初めて接したアメリカのスケールの大きさにただただ圧倒され、その明るく陽気な国民性には心を和ませてくれるものがあつた。

ラスベガス空港はローカル空港にもかかわらず華やいだ雰囲気、空港ロ



レビン社長(右)と歓談する京谷社長(中央)

ビーにはスロットマシンが並び、観光客はこれぞ正にギャンブルの街ラスベガスをいやが応でも体感できる。

翌朝、宿泊先であるヒルトンホテルに隣接するラスベガスコンベンションセンター、今回のARA展の開催会場を訪問、視察した。弊社アメリカ代理店であるMQ社の小間は三笠輾圧機を中心としたMQ、大型ジェネレーターを扱うMQパワー、そしてパワートロウエルで御馴染みのホワイトマンと3つのブースを擁し、今回の出展社中最大の広さを誇り、来場者へのインパクトは他のメーカーを圧倒する。会場に詰めているセールスマンも30名以上おり、接客に忙しく動き回るその様子は正にMQ社のセールスパワーを見せつけられる思いである。景気低迷にあえぐアメリカであるが、このARA展は毎年2月に開かれる所から、その年の景気見通しが占える絶好の機会と捉えられており、今回の結果として1989年

社レビン社長の好意によりARA事務局主催のバンケットに参加する機会を得た。ラスベガスのホテルの中でトップクラスに位置するミラージュホテルで行われたこのパーティーには、全米各地より夫婦連れの会員が集い、その参加者は1,000名を優に越える大規模なものであった。この席上、33年間の長きに渡り、ARAに対し協力を惜しまず、又、その努力、功績に対し、展示メーカー、ディストリビューターを代表して、過去を通して今回初めてMQ社が「ザ・ベスト・オブ・サブライヤー」の栄誉に授かり、表彰された。MQ社に対するこの栄誉は、アメリカマーケットに対しMQ社と共に、一身体で販売に歩んできた我々三笠産業にとっても又大変名誉なことで、今後の販売に対し更に意を強くした。

翌12日、会期を終了したラスベガスを後に、一路ロスアンジェルスに戻り、土日の休日をロスで過ごし、15日月曜、終日MQ社にてミーティングを持ち、16日全日空便にて帰路についた。

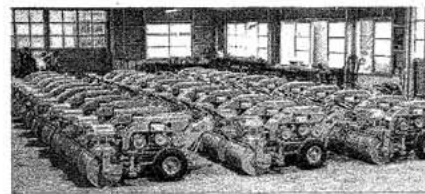
三笠ニュース創刊30周年の歩み全120号の見出しに拾うトピック抄々 ①

- 1号……………三笠産業本社ビル落成 (S.38.4) MTR-160型完成 初午祭
- 2号……………三笠本社ビル落成式 (S.38.7) 豊川稲荷遷座式
- 3号……………高周波型枠自振モーター (S.38.10) 第二回全三笠野球大会
- 4号……………三笠インバクトローラー (S.39.1) 新入社員紹介 ハゼ釣り大会
- 5号……………ポータブル万能輾圧機誕生 (S.39.4) 忘年会 社長宅新年会 初午祭
- 6号……………おどり出た 三笠の斜面輾圧機 (S.39.7) 東部・西部三笠代理店会
- 7号……………東京オリンピック開幕 (S.39.10) 日本最初のアメリカ向け技術輸出
- 8号……………パイブレーター東バキスタンへ (S.40.1) 三笠釣り大会
- 9号……………米国ブローノックス社再び来日 (S.40.4) 社長宅新年会の記 初午祭
- 10号……………3PSミカサエンジン車改造成る (S.40.7) 代理店訪問 忍法猿楽流三笠丸

- 11号……………アメリカの印象(京谷達也) (S.40.10) 三笠海の家だより 三笠釣大会
- 12号……………三笠館林工場の増築 (S.41.1) 京谷社長誕生会
- 13号……………新製品ヒートコンパクター (S.41.4) 第9回笠友会総会(山中温泉)
- 14号……………80型タンピングランマー完成 (S.41.7) 代理店訪問 館林工場増築落成
- 15号……………三笠本社ビル増築始まる (S.41.10) 第三回全三笠野球大会
- 16号……………三笠製品韓国へ (S.42.1) 東南アジアを巡りて
- 17号……………本社ビル増築完成 初午祭 (S.42.4) 東南アジア調査団参加記録
- 18号……………背負式パイブレーター完成 (S.42.7) 三笠創立30周年の記念式
- 19号……………巡回サービスカー (S.42.10) 京谷社長誕生会(浅草浜清)
- 20号……………三笠キャラバン隊の若者達 (S.43.1) 三笠建設機械九州出張所開設

- 21号……………ハンドカッター誕生 (S.43.4) 京谷社長宅新年会 初午祭
- 22号……………小型パワートロウエル完成 (S.43.7) 十勝沖地震を見舞て
- 23号……………80型ランマー6ヶ月保証販売 (S.43.10) ブラックバス釣競技会(芦ノ湖)
- 24号……………三笠技術研究所落成 (S.44.1) 秋の三笠親和会旅行(伊勢)
- 25号……………館林工場建設用地決まる (S.44.4) オーストラリア出張記
- 26号……………油圧式ブレーカー大好評 (S.44.7) 第12回笠友会総会(佐渡)
- 27号……………輸出貢献企業として大臣表彰 (S.44.10) 三笠海の家釣り競技会
- 28号……………100型パイプロコンパクター (S.45.1) 三笠の宣伝活動外国でも活発
- 29号……………横綱柏戸の断髪式 (S.45.4) 札幌出張所開設 誕生会発足
- 30号……………親和会春季旅行(万国博) (S.45.7) 三笠海の家開設(葉山)

- 31号……………輸出貢献企業として再び表彰 (S.45.10) 館林新工場地鎮祭
- 32号……………館林新工場建設工事進む (S.46.1) インバクト3,000台突破記念



- 33号……………韓国三笠建機株式会社設立さる (S.46.4) 京谷社長宅新年賀詞交歓会
- 34号……………三笠館林新工場落成す (S.46.7) 創立記念全三笠野球大会
- 35号……………フレキシブル水中ポンプ完成 (S.46.10) 輸出貢献企業表彰(3度目)
- 36号……………対米向ランマーの輸出 (S.47.1) 一億増資達成祝賀新年会
- 37号……………笠友会設立15周年記念総会開く (S.47.4) 三笠仙台出張所開設

座談会

PR紙の先駆け『三笠ニュース』
時の流れに応じた取材に期待!

創刊号の表紙

司会(炭) お忙しいところお集まり頂きありがとうございます。今日は三笠ニュース創刊30周年記念座談会ということで「ニュース」創刊と同じ昭和38年に入社された大先輩の方々から5人、「ニュース」創刊と同じ年に誕生された若手の3人にお集り頂いた次第です。どうぞ気軽に発言をいただき、当時の思い出や「ニュース」の使命、そして今後の在り方などを掘り出したいと念じます。よろしく願いいたします。



荻本 三笠産業ニュースというのが創刊当時のタイトルでしたね。現在の『三笠ニュース』と名称変更したのは10年後ぐらいじゃなかったかと思う。編集長は弘道社長ご本人で極めて豊かな文才をお持ちだから仲々大変だった。原稿として会社のもろもろのイベント報告を提供させられるのだが、これがマトモに通ったことがない。表現の訂正から誤字脱字まで赤ペンでびっしり手なおしされて返ってくる。

高野 あの文章添削はみごとなものでしたなあ。時には末尾に批評感想文までついて来た。生き残ったのは数字だけという極端な原稿さえも…。しかしこうした定期刊行物、機関紙の発行は我々の業界ではまだどこもやっていなかった。つまり先駆けですよ。

坂本 したがって新製品の紹介など反響が大きく、我々技術部門は正直いうと困った面も多々ありました。いち早く紙面でPRするために



高野

は写真が必要ですが、技術のほうではもう少し詰めた、テストも繰り返したいの段階で写真をとるわけです。撮ってしまえば形式など余り変更できないわけでしょう。

管野 あの頃評判のゼンザプロニカを会社が買ってきて撮影を担当しましたよ。時には中身の無い外形だけを写したりして…。(笑)

坂本 ニュースがそのままカタログの役も果たすわけですから年4回の発行が近づくたびにまた何かやらねばならんと緊張もしたし励みにもなった。

高野 今ではシートカタログを手軽くスピーディーに作れるが、あの頃はもっぱら「ニュース」だけが頼りだったね。

荻本 お客さんからの問い合わせにドギマギしたことがありますよ。あの品物はいつ出るのか、早く欲しい…。ところが発表はしたものの結果は陽の目を見ることなくお蔵入り…。そんな事もありましたね、幾度も。

高野 この「ニュース」が業界におよぼしたインパクトの強さは計り知れないよ。あのころ海外まで出かけるのは当社だけだったし、だから海外出張

のレポートは本腰を入れて…

中島 それがね、仕事仕事の猛烈レポートばかりでは書くのがテレ奥いからでしょう余暇の観光報告が増えてきた。おかげで税務調査官から1本とられましたよ。私は一生懸命に説明してウチの社員出張は土・日を移動日として仕事にフルに打込んでいますから…。ところが調査員は昼休みの後『三笠ニュース』の綴じ込みを開いて「ここではウィークデーにラスベガスで遊んでいますね。これでは業務出張になりません」(笑)油断できませんよ税務署ってのは。私が説明したわが社の「凄い仕事ぶり」もこれで水の泡と消えてしまった(笑)

荻本 PR紙でもあり社内報でもあり且また機関紙でもあるという多様性が備わってきたため、つい旅と宴会と遊び記事が目立つようにはなった。

中島 私は「ニュース」も含めて会社の仕事を家へ持ち帰ることをしなかったが今は女房宛てに



中島

「ニュース」を郵送してくれる。おかげで会社への関心や製品の知識が高まって、この間などガス工務屋が来たとき女房や娘が「三笠の機械を使わなきゃダメね」なんて工務屋に言って聞かせていたんでびっくりした。

坂本 「ニュース」家庭郵送いいアイデアだった。私は昭和38年組では一番遅い九月の入社だから初めてもらった「ニュース」は第3号。以来欠かさず保存している…。

司会 郵送の好評ありがとうございます。こうして30年120号をまとめてみると実にこれこそ何より生きた会社の歴史だと痛感します。

出席者

荻本(国内営業部)	昭和38年入社
高野(海外営業部)	〃
坂本(技術部)	〃
管野(生産管理部)	〃
中島(経理部)	〃
山野(営業サービス部)	昭和38年誕生
日野(国内営業部)	〃
有原(営業サービス部)	〃
炭(総務部)	司会担当
原田(総務部)	カメラ担当
藤岡(海外営業部)	編集補佐

坂本 10年も前に取り引きをやめた代理店さんから「ニュース」で見た製品の問合わせがあったり、新しい取引先に届いていないということもある。大変だろうけどキメ細かな配送を願いたい。

荻本 それから個人宛ての発送はその人の部署が変わっても続けたほうがいいね。三笠の心の温みが届くんだ。

高野 海外代理店では「ニュース」に触発されてPR紙の発行を開始したところもある。アメリカのMQ社などその一例としてあげられる。

藤岡 そうなんですか。MQ社三笠ニュースから学ぶ…なんて素晴らしい引き文句になります。ただしあちらさんでは編集目標を徹底してセールス促進に向け、内容充実ではとても敵わない高度なものです。



管野 内容充実とか若い社員にも関心を、と言う立場から必要なのは取材活動だと思うな。現実には何かいい話題とかテーマがあっても、発言すれば書いてくれと言われる。これが困るんだ。モノ云えば唇寒しだからつい触らぬ神に祟りなしで、肩をすくめて知らぬ存ぜぬで通してしまう。ひと頃ニュースの記事不足で低迷傾向が見えたのも原因はここにある。取材記

坂本 ーマがあっても、発言すれば書いてくれと言われる。これが困るんだ。モノ云えば唇寒しだからつい触らぬ神に祟りなしで、肩をすくめて知らぬ存ぜぬで通してしまう。ひと頃ニュースの記事不足で低迷傾向が見えたのも原因はここにある。取材記

三笠ニュース創刊30周年の歩み全120号の見出しに拾うトピック抄々 ②

38号……ヨーロッパを覗く(京谷弘道)
(S.47.7) 社員家族慰安会(館林工場他)
39号……MT R-55型消音化する
(S.47.10) 近藤沼鯉釣大会
40号……アメリカ・カナダを覗く
(S.48.1) 東北自動車道一部開通
41号……ニュース創刊10周年祝辞
(S.48.4) 笠友会総会(台湾)
42号……ニュース10周年記念祝賀会の記
(S.48.7) 新入社員の入社式挙行
43号……スロープタンパーの現場撮影
(S.48.10) 第1回社員海外視察旅行
44号……カリフォルニアのレンタル展
(S.49.1) 館林工場増築工事上棟式
45号……三笠代理店会の歌発表
(S.49.4) 初午祭 稲荷鏡
46号……代理店を訪ねヨーロッパを廻る
(S.49.7) 春の三笠親和会(伊豆)
47号……標準型用改良型エンジン盤完成
(S.49.10) 優勝壺(輪出課)
48号……強力型カッター出現
(S.50.1) キャリーミキサー誕生

49号……出た!!三笠ナインローラー
(S.50.4) 三笠土工機の電動化成
50号……第11回東京国際見本市
(S.50.7) 第11回全三笠野球大会
51号……賑やかに京谷社長の誕生会開催
(S.50.10) 三笠湖畔の家繁盛記
52号……全国で活躍するインヘッダー
(S.51.1) アメリカを縦断した水素自動車
53号……コンパクト4サイクル化成
(S.51.4) 初午祭
54号……大型工事にインヘッダーを
(S.51.7) 西部・東部地区三笠代理店会
55号……ブラジルの現状
(S.51.10) 第2回三笠社員壮年式
56号……三笠技術研究所上棟式を挙行
(S.52.1) 三笠建設機械株式会社ビル地鎮祭
57号……創立40周年と私(京谷弘道)
(S.52.4) お祝いの言葉
58号……三笠産業創立40周年式典催さる
(S.52.7) アンデスの国々
59号……ポールハンマー作業現場訪問記
(S.52.10) オーストラリアからの便り

60号……三笠建設機械本社屋落成
(S.53.1) ポールハンマー大活躍
61号……植樹作業に活躍アースオーガー
(S.53.4) 皇居内堀周回駅伝大会に初参加
62号……京谷社長ご夫妻結婚式
(S.53.7) 優勝壺 野球大会
63号……三笠のテレビCM放映
(S.53.10) カッターの防音実用新案を取得



64号……高周波テーブルパイプブレイター
(S.54.1) 伊藤忠V S三笠親善野球大会
65号……新潟出張所開設 MQ社屋落成
(S.54.4) 電算機導入

66号……三笠ハンマーシリーズ充実
(S.54.7) 全国三笠代理店会
67号……仙出張所新築工事に着手
(S.54.10) 海の家(宇佐美)
68号……仙出張所新社屋竣工
(S.55.1) 職場を訪ねて(技術研究所)
69号……初午祭 笠友会(南九州)
(S.55.4) 米国代理店の一行来日さる
70号……締固め用機械検査者研修実施
(S.55.7) 第16回野球大会 優勝壺
71号……館林工場増築完了落成披露
(S.55.10) シカゴへ旅(長谷川茂)
72号……謹賀新年(京谷弘道)
(S.56.1) CRA三笠館林工場を視察
73号……大好評のインヘッダー
(S.56.4) 内堀周回駅伝大会4度目の出場
74号……フィリピン・ニューギニアの旅
(S.56.7) 楊先生一行三笠館林工場を視察
75号……好評 電直法面仕上げ機
(S.56.10) 帰って来たミカサエンジン
76号……職場を訪ねて(三笠本社)
(S.57.1) アンデスの国々

